

平成24年7月26日

福岡県内経済情勢報告

平成 2 4 年 7 月

財務省福岡財務支局

【問い合わせ先】

財務省 福岡財務支局 経済調査課

TEL 092-411-7281 (代表)

092-411-9038 (夜間直通)

FAX 092-452-1318

福岡県内経済情勢報告(平成24年7月)

【総論】

県内経済は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、自動車生産の増加などを背景に、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、電力供給の制約や海外経済の動向による景気の下振れリスクが存在しており、雇用情勢などと併せて留意する必要がある。

【情勢判断の主なポイント】

	前回(24年1～3月期)	今回(24年4～6月期)
総括判断	厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている	緩やかに持ち直している
個人消費	一部に弱い動きがみられるものの、持ち直してきている	一部に弱さはみられるものの、持ち直してきている
生産活動	緩やかな持ち直しの動きが続いている	持ち直している
雇用情勢	緩やかな持ち直しの動きがみられるが、厳しい状況にある	厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している。
住宅建設	このところ前年を下回っている	前年を上回っている
設備投資	23年度は増加見込み	24年度は減少見通し
公共事業	前年度を下回っている	前年度を上回っている
輸出	このところ前年を上回っている	前年を上回っている
企業収益	23年度は減益見込み	24年度は増益見通し

【各論】

(主要項目)

個人消費 【一部に弱さはみられるものの、持ち直してきている】

個人消費をみると、大型小売店販売額(百貨店・スーパー)は、昨年の新規出店の反動などから前年を下回ったものの、高額品に動きがみられるなど足下持ち直している。コンビニエンスストア販売額は、プライベートブランド商品の投入効果などから、前年を上回っている。乗用車販売は、エコカー補助金の効果などから、前年を大幅に上回っている。家電販売は、薄型テレビを中心に、弱い動きとなっている。

生産活動 【持ち直している】

生産活動を主要業種で見ると、鉄鋼は、汎用品が弱い動きとなっているものの、自動車向けは堅調であることから、おおむね横ばいの生産水準となっている。電子部品・デバイスは、デジタル家電向けは低調となっているものの、スマートフォン、車載向けは堅調となっている。輸送用機械の自動車は、国内外の堅調な需要に加え、新型車の生産移管などにより生産水準を引き上げている。

雇用情勢 【厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している】

雇用情勢を見ると、新規求人数は、小売、医療・福祉、情報通信等で増加しており、前年を上回っている。新規求職者数は、前年を下回っている。有効求人倍率は、緩やかに上昇している。

(その他項目)

- **住宅建設**を新設住宅着工戸数で見ると、貸家を中心に前年を上回っている。
- **設備投資**を法人企業景気予測調査（24年4～6月期）で見ると、24年度は、製造業は前年比39.9%の減少、非製造業は同7.5%の増加となっており、全産業では同8.9%の減少見通しとなっている。
- **公共事業**を公共工事前払金保証請負金額（年度累計）で見ると、前年度を上回っている。
- **輸出**（円ベース）は、自動車、電気機器を中心に前年を上回っている。
輸入（円ベース）は、液化天然ガスを中心に前年を上回っている。
- **企業収益**を法人企業景気予測調査（24年4～6月期）で見ると、24年度の経常利益（「電気・ガス・水道業」及び「金融業・保険業」を除く）は、製造業は前年比164.9%の増益、非製造業は同0.5%の減益となっており、全産業では同12.6%の増益見通しとなっている。
- **企業の景況感**を法人企業景気予測調査（24年4～6月期）の景況判断BSIで見ると、24年4～6月期は、「下降」超幅が拡大している。業種別にみると、製造業は「下降」超幅が縮小、非製造業は「下降」超幅が拡大している。
- **企業倒産**の件数は、足下では前年を下回っている。
- **消費者物価**（福岡市）は、前年並みとなっている。
- **貸出金残高**は、前年を上回って推移している。